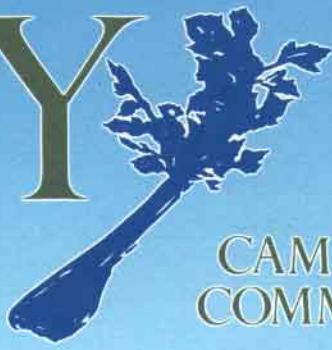


CELERY



No.13
1992

CAMPUS
COMMUNICATION



中村学園大学・中村学園短期大学／広報

国際的な活動の広がりを期待 ボストン大学医学部と学術交流協定を締結

学長 山元寅男

共同研究の推進
教員、学生の交流
教育方法の開発についての協力



これまでの我が国の社会的、文化的、経済的な発展に大学が果たしてきた役割は誠に大なるものがある。今日の我が国は複雑かつ流動的で、大学もそれらに対応して新たな展開と学術の一層の進展が求められている。また一方では、先進国の一員として、社会のあらゆる分野において国際化を進めていかなければならない。このことは大学においても例外ではない。

本学も大学の教育研究を国際的な水準に維持し、先進諸国に伍して新たな世界的貢献を目指していくために、外国の教育研究機関と学術交流を積極的に行うことを行なってから計画してきたところであるが、このたび、大学院栄養科学の中村元臣教授の友人であるボストン大学医学部栄養病理学のバイターレ教授と中村教授との間で、学術交流のきっかけを作つて頂いた。昨年から、バイターレ教授を介して、ボストン大学医学

部長チヨバニア教授と私との間で種々協議を重ね、協定文書の作成にこぎつけ、本年四月に協定書に調印することができた。

協定書の内容を要約すると、中

村学園大学とボストン大学医学部

とは公式の協力関係を締結し、栄

養科学領域における共同研究の推

進、教員・学生の交流、教育方法

の開発についての協力、研究情報

の交換などを両大学間で協議実施

する。また、必要に応じて合同の

研究会なども行うというものであ

る。

本協定は、本学が海外の大学あ

るいは教育研究機関と締結した第

一号の協定であるが、本学の教育

研究の進展により、より広い国際

交流の場を広げ第二、第三の海外

姉妹校の締結も将来の課題となる

う。国際的視野を広げるためにも

是非実現したいものである。

教員の研究活動も、海外へと広がっている。七月以降の海外調査、研究発表の状況を紹介しよう。(氏名・職名・専門分野①訪問国②目的③期間)

久富さよ子助教授(音楽)
韓国 音楽教育国際会議(1
SME)研究発表およびISM
E 幼児音楽教育セミナー出席
7/20~8/2

高山守重教授(音楽)
韓国 音楽教育国際会議出席
7/26~8/2

権藤奥志夫教授(比較教育学)
シンガポール 「アジア・太
平洋地域人の資源の開発と経
営」国際シンポジウム参加と討
議 7/29~8/1

坂本喜久雄教授(社会学)
韓国 社会福祉事情視察およ
び調査打合せ 8/6~8/10

城田知子助教授(栄養指導)
台湾 台湾における栄養調査
報告ならびに一部追加調査
8/20~8/27

伊藤和枝教授(臨床栄養学)
ネバール 第五次健康科学調
査 9/1~9/22

吉岡慶子助教授(調理科学)
フランス 生物関連領域にお
ける高圧科学シンポジウム「高
圧と食品科学」日欧合同会議研
究発表 9/12~9/19

西岡弘晃教授(経済史)
オーストラリア 「Environ-
mental History of China and
Japan Project」の文献収録作
成と共同研究成果のとりまとめ
にオーストラリア国立大学
9/18~9/27

大村 浩久教授(食品加工学)
城田知子助教授(栄養指導)
中村量一副理事長
三成 由美講師(調理学)
中国 学術研究打合せ
9/7~9/14

楠 喜久枝教授(調理学)
日本 海外派遣研究員
大関教授はニュージーランドへ
今年度の海外派遣研究員(短
期)に決定している一般教養科
大関敏教授(英語学)は、来年
1月出発予定。ニュージーランド
のワイカト大学言語学部に約四十
日間滞在し、同学部の英語教授法
「Conversation, Theory and Prac-
tice of Language Teaching」の
プログラムに参加。また、存在論
的言語論について研究を進める予
定になつてゐる。

第一回 アジア栄養科学ワークショップ

一緒に考えてみませんか?

アジアの食と衛生

子どもの心(10)

児童学科・幼児教育科

講師 中野 隆二



子どもの描いた線は、いつ見ても大変楽しいものです。例えば、画用紙に大きな円形をかき、その中に小さな丸を三つほどかき入れます。これは顔で、その外円から直接手足をかくのです。胴体がなく「頭足人」と呼ばれ、3~4歳頃の可愛い特徴です。それ以前では、赤や青色などのクレパスで、ぐるぐるがきしたものに、名前をつけたり、意味を言ったりします。

私達大人から見ると何をかいているかさっぱり分かりませんが子どもには分かるのでしょうか。このぐるぐるがきにはバランスがあり、かいているとき、とてもリズミカルで楽しそうです。ある人はこの行為を「自分自身への手紙を書いている」と言いました。5歳ぐらいになると、大人から見てよく分かる絵になりますが、平面的な表し方で、基底線をかき、その上に人や家・木が並んでいたり、箱を開いたような感じであったり、透視したかのようにかいたりもします。また、一日のできごとを一瞬のように一枚の画用紙にかいたりなどして、その表現方法は様々です。この描かれた絵の中にはかならず自分自身が存在し、嬉しいこと、悲しいことなど自分の思っていることや感じたことなどでも絵の中にかき込んでいます。

このように、子どもの絵は大変面白いのですが、子どもにとって絵をかくことは「排泄净化」と言われ、心の中にあるものを絵という表現排泄によって自分の心をいつもフレッシュにしているといふことです。子どもの絵を見ると、上手(写実的?)にかいてることよりも子どもが何を考えているのかを読み取ってあげることが大切であると感じます。

栄養科学研究所では、十一月十一日に「第一回アジア栄養科学ワークショップ」を開催。「アジアの食と衛生」をテーマに、群馬大医学部鈴木庄亮教授(公衆衛生学)の「インドネシアジャワの農村の食と衛生」など、六名の講師の発表がある。

経済や教育と同じように、食と衛生の問題は、急速な開発が進んでいるアジアの多くの国々が早急

講 師	所 属・職 名
竹本泰一郎	長崎大学医学部教授(公衆衛生学)
豊川 裕之	東邦大学医学部教授(公衆衛生学)
丸井 英二	東京大学医学部教授(留学生センター)
鈴木 庄亮	群馬大学医学部教授(公衆衛生学)
伊藤 和枝	中村学園大学家政学部教授(臨床栄養学)
城田 知子	中村学園大学家政学部助教授(栄養指導)

に対策を講じねばならない課題となつてている。今回は、こうしたアジア諸国が抱える現状に迫りながら、その改善に向けて、我が国がどう協力していくべきか、また学ぶべき問題点などについて考える。参加費は無料、関心のある方はぜひ出席下さい。

日時 平成四年十一月十一日(木)
午後一時~五時

場所 音楽館二階多目的ホール

アジア・太平洋センター設立 理事長に権藤與志夫教授就任

福岡市

アジア太平洋地域の学術研究交流拠点を目指して、福岡市が準備を進めていた「財団法人アジア太平洋センター」が十月から活動を開始した。アジア太平洋地域の相互理解を深めるため、国内外の研究者で文化、経済などテーマごとの研究会を組織し、若手研究者の活動を支援するほか、研究成果を出版して情報発信する。将来は、自治体の取り組みとしては全国でも異例の長期滞在型研究施設を建設する予定もある。会長に元外務大臣大来佐武郎・内外政策研究会長理事長に本学児童学科の権藤與志夫教授が就任した。

本年度は研究対象に韓国とタイを取り上げ、研究会を設置して、現地調査や講習会を実施。アジア各地の新聞、

九州大学名誉教授。九州大学在職

中は教育学部長、附属比較教育文

化研究施設長を歴任。平成四年四

月本学児童学科教授に就任。専門

は比較教育学。

昭和三七年七月生(六四歳)。

現在、九州教育学会会長、九州

シルクロード協会副会長、福岡マ

レーシア友好協会会長、北部九州

研究学園都市建設構想懇談会委員。福岡県立学校教育振興計画審議会副会長

雑誌の収集や、国内外から専門家を招き、市民向けの学習会を開催、国連大学との共同研究も行つ。福岡市からの三億円の出資と約一億三千万円の補助金などで運営。仮事務所は福岡市早良区のシーサイドももちの福岡タワーに置かれるが、将来はシーサイドももちの市有地に、研究室や会議場を備えた宿泊施設を建設する計画。

権藤教授(写真)

日本生化学会はわが国の生命科

学関係の中心的学会であり、会員

数は一万二千名を超える。基礎医学

は最大の学会となつていて、大会

には医学関係者だけでなく、薬学

・歯学・理学・工学・農学などの

分野の研究者六千名以上が出席し

約三千題の研究発表が行われた。

本学では、西一号館大講義室な

ど十七教室が講演会場になつたほ

か、体育館にはメーカーが開発し

た実験器機等が展示された。

6000名の研究者
福岡へ
日本生化学会大会
本学を会場に開催



稗田くん(左)、宗さん(右)

小児科の仲村先生
それにヘルバーさん、子供達…た
くさんの人と関わ
りを持てたことが
本当に良かったと
思います。

まだ、自分の行
き先（進路）に迷

学にしていただいたことなどは絶対できなかつたと思いますね。病院の先生や栄養士さん、いろんな方と知り合いになれ、学外の勉強会や研修会にも参加させてもらつていますが、このサマーキャンプでやつて「いる」とは、つづけの大学が誇りにできるものだと思ひます。

味・材料・調味に偏りはない
か。すべてチェックして献立は完
成です。

ここまでにするだけでも大変な
のですが、この他に食材の仕入れ、
食器の手配などもあり、もう、目
が回るほど忙しさで、前期試験
はぶつつけ本番で頑張りました。
夏休みに入つても最初の一、二日
と出発の前日は準備にかかりつき
りで学校に来ていました。

稗田 私達に全て任せられているわ
けですから、何があつたら怖いな
あという思いが、いつも頭にあり
ました。ですから、役割分担も細
かく分けて、それぞれがチェック
リストを作り責任をもつてあたる
ことにしました。

宗 食事は朝八時・正午・午後六
時、それにおやつが昼三時、夜九
時ときちんと決められています。
朝は五時半に厨房に入り食事の
準備にかかります。夜は翌日のた
めのミーティングや準備などで、

人との出会いが退学したいと思つていた気持ちを変えた
宗 キャンプと関わりを持つて二年間、本当に忙しい日々でした。
毎日がキャンプのためにあつたといつていいくらいです。直接指導をしていただいた伊藤先生や林先

もし残すときは、ドクターに報告するようになっています。嫌いだったものが食べれるようになつたといつてくれた子供、嫌いだけど、ここではちゃんと食べるよと、言ってくれた子供……一週間の間に子供たちは随分変わりました。

布団に入るのが午前一時過ぎになることもしばしばで平均四~六時間くらいしか寝てませんでした。最初の一~二日間くらいは辛かつたけれど、あとは慣れました。

ともに大学管理栄養士専攻の三年生。二人は八月十七日から二十四日までの七泊八日、福岡県朝倉郡夜須町にある夜須高原やすらぎ荘で行われた「福岡県小児糖尿病マークリーチャンプ」（今年で二十四年目、本学が参加して十七年になる）に、十八名の食物栄養学科の仲間とともに、スタッフとして参加。病気を持つ子供たち約四十名と寝食をともにしながら、食事の世話をを行ってきた。

忙しい日々だったけれど時間には代えられないものを得た。

小児糖尿病サマーキャンプに参加して



キャンプとの出会いは軽い気持ちでした

稲田 昨年の四月場で、たゞ二年生に進級したころですが、先輩から「説明会を開くから参加しないか」と声をかけられたのですが、きっかけです。そのときは、将来的の役にたつかも、と軽い気持ちでした。説明会に出席してみると、子ばかりだったので、男が一人多く加していくのかな? という不思議もありました。

宗 私はもともと病院栄養士になりたいと思ってこの大学に入りました。先輩の説明を聞いて、栄養士の仕事をかいま見れると思い、どうせ栄養士になるのなら、みんなより一步も二歩も先を見ておいて就職を決めたいという気持ちで、就職を決めていたところ、そこで参加されました。

すべてを任されるから目がまわるほど忙しいで、やり方が分からぬからです。稗田 私たちは糖尿病の子供達の食事、それに、スタッフの食事、一切がまかされています。ですから、最初は「糖尿病」とはどんな病気なのかといった知識を頭に入れるところから始めました。次にどんな食事計画をたてたらよいかです。子供たちには毎日朝・昼・夜の食事の他に二回のおやつも準備します。エネルギーが合わないといけないし、どう展開していくか、最も神経を使いました。このため、昨年十月頃から活動を開始し、勉強会を重ねてきました。宗 予定献立ができたらドクターと実践栄養の先生、ヘルパーさんと実際に試食してもらいます。

た。それと面接です。
食事スタッフの人数は原則として十六名ですが、今年は二十名に参加しました。三年生が十二名に、二年生が八名です。一年間やつただけでは、この仕事を自分のものにすることは出来ないので、どうしても二年間継続して参加することが必要です。二年生と三年生が一人ずつペアを組み、二年生は先輩のアドバイスを受けながら仕事を覚えていきます。一年生はまだ、集団給食実習を経験していないの

人形劇やぬいぐるみ劇などで子供たちに人気のある児童文化部が、平成四年度福岡市福祉のまちはにかむ「福祉の町づくり」表彰に



6

24年ぶりに全種目参加 全国私立短大体育大会福岡で開催

24年ぶりに全種目参加

全国私立短大体育大会福岡で開催

九州では実に二十四年ぶりの開催となった全国私立短期大学体育大会（第二十七回）が、八月四日～七日の四日間、福岡市で開催された。バレー・ポール・バスケットボール・バドミントン・軟式庭球・卓球の五種目に、今回は全国から百六十五校、約三千九百名の選手・役員が参加。開会式は四日午後四時から福岡市民体育館で高田宮殿下、妃殿下と臨席のもと華やかに行われた。

開会式に続いて行われた公開演技には本学からなきなた部とN・D・A（ナカムラ・ダンシング・アソシエーション）が、日頃の練習の成果を披露。整然と緊迫感に満ちた演技を行なうなきなた部・解快なリズムに乗つてフロアいっぱいに踊るNDAに宮様をはじめ観客席から大きな拍手が湧いた。

試合は翌日から三日間、福岡市民体育館をはじめ、市内の公立体育館や大学・短期大学等の体育施設を使用して熱戦が展開された。

気になる数字 33%

また今年もサークル加入者が減った。9年前、昭和58年の加入率70%をピークに、年々減少傾向にあるサークル加入者が、今年はようとう33%（大学・短大合計）になつた。臨時定員増で在学生数が増えているものの、人数も969と初めて1,000名を割つた。

この減少傾向は全国的なものはあるが、この先どうなるのか気になる数字である。

サークル活動でひとつのこと打ち込むよりも、アルバイトで豊かな学生生活をエンジョイする。それも時代の風潮といえばしかたないのかもしれないが、気の毒のは、サークル活動を一生懸命したいという学生がいるにもかからず、人数不足から満足な練習活動ができないというサークルがある。

Figure 1. A 3D rendering of the human skeleton in a standing pose.

教育改善委員会で審議進む



平成三年七
文部省

学び心で人生豊かに

公開講座は生涯教育の入口

78歳を最高に60歳以上も13名受講

平成四年度文部省科学研究費補助金の交付が、次のとおり決定した。

月/日	講義題目	講師
9/12(土)	開講式 挨拶 オリエンテーション	学長 山元 實男
	現代生活と健康	教授 松本 寿吉
	食物とトキシコロジー	教授 吉村 英敏
9/19(土)	日本の父性の発見	教授 蔡 敏也
10/3(土)	ネバールの食生活から学ぶ	教授 伊藤 和枝
10/17(土)	夫婦の権利と義務	教授 井上 駿
家庭と家庭教育—国際比較		教授 植藤與志夫
10/24(土)	閉講式 修了証書授与 挨拶	学長 山元 實男

九月十一日から十月二十四日までの毎週土曜日、連続六回シリーズで公開講座を開講した。

十九回目となる今年度のテーマは、「ホーム・エコノミックスから食生活・健康といった我が国の家庭を取りまく諸問題は年々深刻化を増しているが、これらは家庭と社会の「すれ」から来るものと看えられる。今回のテーマを「ホーム・エコノミックス……」としたのは、家庭と社会の関係をもつと生き生きとタイナミックスにとらえようとの意味が込められている。受講者は七十八歳を最高に、百二十六名。主婦・教員・栄養士・公務員など幅広い層の人々が集まり、毎回、熱心に聴いておられた。



平成二年七月 文部省
は、大学審議会の答申を受けて、大学及び短期大学の設置基準の一部改正（一部といつても大幅改正となつた）を行い公布した。これに伴い、本学においても新設置基準に対応できる教育の改革を行つべく、学内に教育改善委員会を発足させ、改革のための検討に入ることになった。

委員会は、研究科長、各学科長、事務局長をはじめ各科、部からの代表者を加え、総員十八名で出発することになり、昨年七月に委員会での審議を始めた。以来、今日まで約三回を数えるに至つてゐる。

我が国の高等教育は、第二次世界大戦の終わつた後に、大改革が行われ、それに基いて、教育システムに關わるカリキュラムが細かく規定されてきた。戦後の高等教育は、学术文化の向上はもちろんのこと、今日の豊かな活力ある社会の形成に大きく貢献してきた。しかし、今日見る著しい学术の進展、技術革新、国際化・情報化の

進展、産業構造の変化、国民の意識や生活の多様化等に伴い、これに対応できる高等教育を行うためには、従来の設置基準では十分とはいえないなった。したがって、このような高等教育を取りまく社会環境に適切に対応するため、大学・短期大学の設置基準が改正されたのである。

その主要点は、(一)大学・短期大学の設置基準の大綱化であり、(二)大学・短期大学の自己点検・自己評価を行うことなどである。その他、若干の改正も含まれるが、本委員会の検討事項はこの二点を中心としたことにした。

設置基準の大綱化により、従来細かく枠がはめられていたカリキュラムの編成に、大学自身が求められる個性化、弾力化が可能となつたが、同時に絶えず自己点検・自己評価することにより、大学の質的向上をはかる必要がある。

本委員会では、まずはじめに、大学審議会が、大学設置基準の改正に至るまでの、各答申を学習検討し、改正の背景について十分な時間をかけて論議した。次いで、改正点の個々の条項の正確な理解を得るために、各答申を学習検討を行つてきた。

以上の基本的事項の検討と十分な認識の上で、次のような、本学が取組むべき具体的な事項の検討審議に入つて今日に至つてゐる。まずははじめに、本学の建学の精神と教育目的（理念）と各学科または科の教育目標の明確化を行うことである。

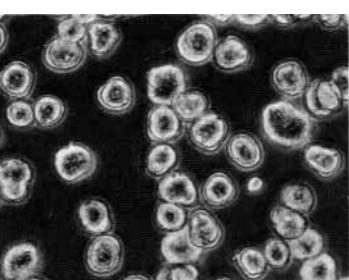
周知のとおり、本学には建学の精神と教育目的が明記され、それに基づいて大学には家政学部が設置され、さらに、この中に食物栄養学科と児童学科が分けられてゐる。一方、短期大学には、食物栄養科・幼稚教育科ならびに家政科が設置されている。本学では前記のような総括的な教育目的は明確にされているが、各学科・各科の教育目標、換言すれば、それぞれがどのような教育により、どのような人材を育成しようとするのかが従来明確ではなかつた。この点を審議し、一応のまとめができた。

次に、これらの教育目標を達成するための教科目と教育課程のシステム化を明確にするために現在審議中でかなりの成案を得つた。これが完結すれば、次は、各教科目毎の教育内容（シラバス）を作成し、それぞれの教育到達目標を設定し、実りある教育を実施することになる。本学の学生が授業と自発的学習をうまく調和させ、教育目標の達成のための工夫を考えなければならない。その次に、自己点検・自己評価の検討に入ることにしている。

分子生物学から、健全な人体の

栄養生化学部門

生命現象の維持のため、わざと達は毎日食事をし、その食事は栄養素を代謝利用し生きている。人体はおよそ六十兆の細胞からなりたっているが、細胞はバラバラに代謝反応をしていくのではなく、細胞内、間で調節され、体全体としてヒトとしての健康な生活が営まれている。ナトリウム研究の大筋の流れは、細胞を構成している分子の解析、細胞内反応、およびその調節に大きく分けられる。栄養学では生化学の細胞レベルの研究を体全体としてみると、ことが必要で、成長、健康、疾病における体の営みを理解し、それに対応して、どのような食べ物（栄養素）を、どれだけ（必要所用量）どのように摂るかを決めるところになる。栄養生化学部門では、体の営みの基本現象をモルキュラー・バイオロジーの視点



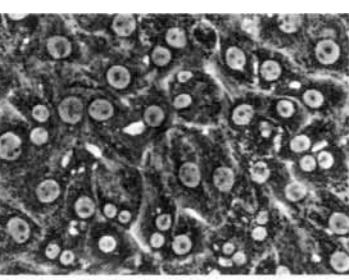
A: 細胞八離轟後 ($\times 100$)

解析し、新しいバイオテクニツクを駆使し、栄養の立場で研究している。将来、栄養士として、また栄養に関する専門的な知識を身につけ、活躍できるよう、研究態度、方法の基本的な指導を行っている。

山藤圭子教授は降圧活性ペプチドを生成する細胞内酵素について、生成ペプチドの生理機能（栄養素の腸管吸収への影響など）と、この酵素の骨粗鬆症との関わりについての研究で成果をあげている。原孝之助教授はステロイド合成に関するP-450酵素系の構造機能相関や、高密度リボタンパク質の機能評価を鋭意研究している。筆者は栄養によるホルモンの酵素誘導の変化、大豆タンパクのメチオニン利用効率、ならびに低アレルゲン食品の開発

高密度リボタンパク質の機能を
高進する食事因子の解明
【区分・補助金交付額】
奨励研究 A・九十万円
このほか左記八名の教員に対し
て九つの民間企業や研究助成財団
から研究助成金・委託研究費が支
給されている。

眞理（A）はラット肝細胞の分離直後、（B）は二十四時間後のものである。ラットの肝臓を「ラーケナーゼ処理し、一度バラバラとし、適当な培養液で培養すると二十四時間後には集まつた状態になっているのが分かる。このような良好な状態の細胞を用いてグルコルチコイド応答や、インスリンによる脂肪合成系の酵素誘導など、栄養条件によるホルモンの酵素誘導



B : 24時間後 (×100)

について研究している。大学院修士課程が設置され、より高度な研究の推進のため、栄養生化学部門には、細胞培養実験室、遺伝子操作実験室が整備され、遺伝子・細胞レベルでの研究が行えるようになつた。現在、細胞培養実験室では、木下助手、卒論生（庄司さん、房野さんの一人とも平成五年度修士課程へ進学予定）は初代培養肝細胞を用いた実験をしている。二人の声「自分達の調製した肝細胞で良い実験結果が得られた時の喜びは大きく、何より、充実感がある。実験の好きな学生は是非、見学に来られて下さい」を紹介しておく。



研究室から

家政科 助教授 森戸政信ゼミ



私達のゼミは25名で構成されています。今年のゼミのテーマは経済思想研究となっています。当面の目標は古典派経済学アダム・スミス研究であり、スミスの『国富論』を中心に勉強しています。スミスの『国富論』は刊行後すでに200年を経過していますが、依然としてそれは近代経済学の源流であり、経済学の最大の古典とも言われています。

私達は今まで『国富論』とかアダム・スミスとか聞くと、それは歴史上の人物であり思想である、という意識が強かったのですが、『国富論』やスミスについて学んでいくうちに、スミスの思想は現代の私達の生活の在り方にまで影響しており、経済というものが身近に感じられるようになりました。

日本経済は21世紀へ向けて経済第一主義から生活重視へと構造的転換を要請されており、コメ問題をはじめ内外に課題が山積しています。今日、正義論を根底にした自由主義的改革読者たるアダム・スミスを学ぶ現代的意義はますます大きくなっています。

私達のゼミでは毎週2人1組で自分たちが懸命に研究した成果を発表し、それについて質疑応答しながら学習を進めていきます。

このゼミでは研究と同時に、あくまでも仲良く、明るく、楽しくという事を隠れた信念として大事にしています。ゼミの研修旅行では、熊本・大分方面に出かけ、山里の温泉に浸りながら楽しく友情と親睦を深めました。ゼミ主任の先生も明るくユーモアがあり、学生も皆いい仲間ばかりで、和気あいあいと楽しく学んでいます。

今年の就職戦線は、バブルの崩壊とともに景気が後退し、従来の「売り手市場」から「買い手市場」へと様変わりしました。このため、特に女子学生にとっては一段と状況は厳しくなったようです。しかも、採用選考開始が、八月一日前後を目指として企業の自主的決定に任されるという不透明さとなり、混乱に拍車がかかりました。情報があてにするだけの活動では方法を学校推薦から自由応募に切り換えた企業も多く、そのため、セミナーに参加した学生だけが、何とか面接や試験を受けるチャンスを与えたのです。しかし

「一般事務系」
「一般事務系」
「事務系」
「事務系」

景気の後退

求人にも反映

今年の就職戦線は、バブルの崩壊とともに景気が後退し、従来の「売り手市場」から「買い手市場」へと様変わりしました。このため、特に女子学生にとっては一段と状況は厳しくなったようです。しかも、採用選考開始が、八月一日前後を目指として企業の自主的決定に任されるという不透明さとなり、混乱に拍車がかかりました。情報があてにするだけの活動では方法を学校推薦から自由応募に切り換えた企業も多く、そのため、セミナーに参加した学生だけが、何とか面接や試験を受けるチャンスを与えたのです。しかし

も、採用する企業は、何回も何回も面接や試験を行い、絞り込んだため、学生に対する拘束期間は例年より長くなりました。

このように今年の就職戦線は、積極的に活動した学生はそれなりに、複数の企業から内定や内々定を買いましたが、ただ漠然と大学に来た求人票のみを頼りにした学生は、受験の機会が少なかつたようです。

また不景気のときの就職活動では、先輩取材の仕方も、より積極的に、しかも、より深く会社内容等を研究しておく必要があったようです。学生は、好景気の時は、自分本位で会社を選ぶことができたわけですが、不景気になると企業も慎重になります。

本学における事務系の求人状況を見てみると、九月三十日現在で、大学は昨年比二三%減の二五九件、短期大学も同じく一九%減の四七三件で、共に全国平均並の減少となっています。十月一日から採用内定開始となりましたが、

千奈美、久保山律子、梅田元子、原綾、矢ヶ部志麻、尾形肇子、桜島美弥子、石松房子、鬼木光子、森保奈穂子、永田亮子、荒川優子、倉八千鶴子、古賀友恵、新納由紀子、上野真貴子、日下部香、三浦香織、河相尚子、山口淳子、大崎智子、児玉洋子、緒方美紀子、永田智子、阿式直美、柴田美里、舟津みゆき、西村栄恵、恒久保康代、吉村華子、堀田貴子、小森祐子、後藤直美、浅倉浩子、美奈子、紫村ゆう子（食物栄養学専攻）

七千五百八十三名が受験、合格者数は三千七百八十六名だった。（合格率四九・九%）。

管理栄養士専攻・食物栄養学専攻からの合格者は次のとおり。

北崎由美、山脇由子、北村いづみ、井上真理子、堀内豊子、矢野

武加代子、角理恵子、瀧上由美（管理栄養士専攻）

（社団法人全国栄養士養成施設協会認定）

今年も全員合格

—管理栄養士国家試験—

五月十七日に札幌市、東京都、

名古屋市、大阪市、岡山市、熊本

市及び那霸市の一都六市で実施さ

れた第六回管理栄養士国家試験の

合格者が六月十一日付で厚生省か

ら発表された。

本学関係では大学食物栄養学科

管理栄養士専攻卒業生が四十九名

（うち平成四年三月卒業四十八名）、

短大食物栄養科卒業生四十名計百

（うち平成四年三月卒業六名）、

同食物栄養学専攻卒業生二十三名

（うち平成四年三月卒業四十八名）、

短大食物栄養科卒業生四十名計百

（うち平成四年三月卒業六名）、

北崎由美、山脇由子、北村いづ

み、井上真理子、堀内豊子、矢野

武加代子、角理恵子、瀧上由美（管理栄養士専攻）

（社団法人全国栄養士養成施

設協会認定）

私の就職活動レポート

何をしたいのか

自分の考えをはっきり伝えること

—ダブルスクールも役に立った—

食物栄養学科・食物栄養学専攻4年 竹内加寿子さん（JTB内定）

情報を求めて他大学に足を運ぶ

私が自分の就職に関して意識したのは大学三年の春でした。スチュワーデスに合格された方のお話を聞いたのがきっかけで、スチュワーデスになりたいと思いついたことはっきり言えます。学院では約十ヶ月間、立居振舞、面接実活動の準備はこの時から始まつた。今考えると私の就職活動はこの時から始まつたことはっきり言えます。学院で「スチュワーデス」の指導を受けましたが、すべてにおいて私の就職活動に役立ったと思います。受けましたが、すべてにおいて私の就職活動に入ったのは具体的な就職活動に入ったと思います。二月下旬からでした。次々と送られてくるリクルート用のハガキを活用し、約五十社に資料を請求し、そのうち約半数の企業から資料を受け取りました。あくまでも私の第一希望は日本航空のスチュワーデスでしたが、その試験のみに賭ける自信はなかったので、できるだけ多くの会社を訪問するつもりでした。

今年四月中旬には各会社のセミナーなどが始まり、いくつかの企業のセミナーに参加しました。サービス業を中心に、ホテル、百貨店、あとは食物栄養学科ということで食品メーカーにしぶっていましたが、今考えるも幅広く活動するべきだったと思います。

人事担当者はコネよりハートをみて

ハートをみて



就職指導担当のコメント

今年の就職戦線は、女子にとつて特に厳しい状況にあり、指導は個人面談を中心に実践的で、いい意味で開き直ったことが効を奏した様です。今年は特に、活動を積極的で、いい意味でアドバイスを行いましたが、竹内さんは私たちの指導を真摯に受けとめてくれました。活動は積極的で、いい意味で開き直ったことが効を奏した様です。今年は特に、活動を早期（四月）にできたか大変だと思いました。内々定を辞してもらつたりしたのが役に立つたと思います。

このして終わった私の就職活動ですが、一番大切な事は自分自身の緊張で前夜一睡も出来ず、南大や福大の友人から情報を入れてもらつたりしたのが役に立つたと思います。私が航空会社以外の会社を四社しか受けることが出来なかつたのが原因だと思いますが、もつも情報の少なさと、私がねらう企業に〇Gがおらず、会社訪問をどうやってよいかわからなかつたのが原因だと思いますが、もつと積極的に活動すればよかつたと少し後悔しています。

私が航空会社以外の会社を四社しか受けることが出来なかつたのが原因だと思いますが、もつも情報の少なさと、私がねらう企業に〇Gがおらず、会社訪問をどうやってよいかわからなかつたのが原因だと思いますが、もつと積極的に活動すればよかつたと少し後悔しています。

私は航空会社以外の会社を四社しか受けることが出来なかつたのが原因だと思いますが、もつも情報の少なさと、私がねらう企業に〇Gがおらず、会社訪問をどうやってよいかわからなかつたのが原因だと思いますが、もつと積極的に活動すればよかつたと少し後悔しています。

私は航空会社以外の会社を四社しか受けることが出来なかつたのが原因だと思いますが、もつも情報の少なさと、私がねらう企業に〇Gがおらず、会社訪問をどうやってよいかわからなかつたのが原因だと思いますが、もつと積極的に活動すればよかつたと少し後悔しています。

キャンパス周辺 MAP



表紙写真 付属尼崎幼稚園での教育実習風景 (児童学科・児童教育学専攻4年)